



目次

センターからのお知らせ

センター評議員会が開催されました・・・・・・・・・・ 1

「リーガルマインド養成研修」受付中！・・・・・・・・・・ 2

教職教育部より 研修講座紹介

「地域の歴史・文化に学ぶ」高校 10 年研地域研修A・・・・ 3

「体験研修 A・B」高校初任研体験研修・・・・・・・・・・ 4

生徒指導・特別支援教育部より 研修講座紹介

「これからの学級経営」～Q-Uを活用した学級集団づくり～・・・・ 5

《センターからのお知らせ》

総合教育センター評議員会が開催されました

平成 25 年 10 月 8 日(火) 総合教育センター第 4 研修室

平成 25 年度の評議員会が開催され、10 名の評議員の皆様にご出席いただきました。

評議員会に先立ち、「子どもをはぐくむ食卓」「授業に生かそう！和楽器の魅力」「義務校長マネジメント研修」の各講座と、岡谷工業高校、上伊那農業高校の生徒実習の様子を参観していただきました。



引き続き行われた評議員会では、センターの重点施策、研修講座の実施状況や、教員研修のあり方等について評議員の皆様と活発な意見交換が行われました。

ご意見を取り入れ見直すべきは見直して、果敢に事業を展開してまいります。

協議の概要は、センターHPをご覧ください。



【ミドルリーダー（教員歴10～20年の中堅教員）対象】

昨年
引き続き...

「リーガルマインド養成研修」のご案内

長野県総合教育センター・日本女子大学坂田研究室 共催
(平成25年度 独立行政法人教員研修センター委嘱事業)

日時 平成25年12月3日(火)・12月4日(水)
9:30～16:30 ※どちらか1日のみでも参加可能です。
場所 長野県総合教育センター

「いじめ」、「体罰」、「学校事故」など複数のテーマを扱い、裁判例等を教材としつつ、ケーススタディ、ワークショップ的技法を用いて、日々の教育活動に必要となる危機管理能力の育成に役立つ実践的な研修を行います。昨年好評につき、今年もさらに多くのご参加をお待ちしています。

講義内容(予定)

12月3日(火)

体罰／教員の非違行為と懲戒処分
／教員に必要な個人情報管理
の在り方

12月4日(水)

学校事故／いじめ

締め切りは...

11月15日(金)です!!

書類ダウンロード

希望研修各種様式

- ▶ [追加募集講座申込み](#)
- ▶ [追加募集講座申込み手引き](#)
- ▶ [リーガルマインド養成研修申込書・案内](#)
- ▶ [欠席届](#)
- ▶ [旅費口座振込依頼書](#)
- ▶ [マイクロバス・宿泊予約](#)
- ▶ [研修講座受講後アンケート](#)
[受講者用アンケート](#)
[学校長用アンケート](#)

問合せ・申込み先

長野県総合教育センター 企画調査部
TEL：0263-53-8802
FAX：0263-51-1290

詳しくはこちらから!!

長野県総合教育センター ホームページ
<http://www.edu-ctr.pref.nagano.lg.jp/>

「高校 10 年研地域研修A

～地域の歴史・文化に学ぶ～」

平成 25 年 8 月 30 日(金)実施



教職経験 10 年目となる高等学校教員を対象に、自己を見つめ直し、視野の拡大、専門性の向上を目指して行う研修の一環です。長野県立歴史館（千曲市）において、地域と連携した取り組みについての講義や演習を通して、「地域と共に築く教育の在り方」、「地域に開かれた学校づくりの可能性」について考えました。

県立歴史館学芸部 市川正夫 主幹指導主事兼部長

- ☆地域とともに築く教育の在り方として、地域学習の提案
- ☆地域の資源、人材、環境等を学び、地域の良さを知ってその可能性や将来を探ることの重要性



(受講者アンケートより)

- 身近な地域や長野県のことについて知ることが、地域の良さを知り、また他国や他県とのつながりを知ることが出来ると思った
- 自分の地域をよく知ることは、自分の地域を愛することに繋がり、地域に貢献できる人材を育てるのに有意義であると感じた

考古資料課 原 明芳 主任指導主事兼課長

文献資料課 青木隆幸 主任指導主事兼課長

- ☆地域の歴史資料の収集や研究、史跡との連携の実際について



(受講者アンケートより)

- 机上の勉強だけではなく、資源や環境に実際に触れる事の面白さを生徒達に伝えていきたい
- 実際に見たり、触ったり、作ったりする体験は意欲や関心を高めると感じた



高等学校初任者研修「体験研修A・B」



【A】平成 25 年 9 月 17 日(火)実施

果樹試験場 30 名(北信)、野菜花き試験場 17 名(中信)

【B】平成 25 年 9 月 24 日(火)実施

果樹試験場 26 名(東信)、野菜花き試験場 32 名(南信)

「体験研修」とは・・・？

高等学校の新規採用教員を対象に、県果樹試験場（須坂市）と県野菜花き試験場（塩尻市）での体験作業を通して、農業や各施設の理解を深め、長野県の地域特性を理解し、地域に根差した教員を育てることをねらいとしています。

長野県の農業事情と研究についての講義の他、彼岸用の花の出荷作業（野菜花き試験場）、林檎の葉摘み作業（果樹試験場）などを行いました。

（受講者アンケートより）

「トマトの鉢移しや苺の葉っぱ取りといった地道な作業を行いましたが、収穫に至るまでこんなに気の遠くなるような作業が必要なのかと初めて気づきました。」

（野菜花き試験場）



（受講者アンケートより）

「林檎の葉摘み体験をおこないました。従事している方々の思いやりがいを実際に体験することで、地道な作業の積み重ねが農業を作り上げていることが理解でき、農業を身近な存在に感じることが出来ました。」

（果樹試験場）



新規採用教員の研修は、教員としての自覚と使命感を養い、教育に必要な知識と技能を身に付け幅広い知見を得るために、年間を通して行っています。



予防的・開発的生徒指導

『これからの学級経営』～Q-Uを活用した学級集団づくり～

平成25年9月12日(木)実施

奈良教育大学准教授 粕谷貴志先生の講義・演習から学びました。

学級集団の現状を理解

◆変化する社会の中で、 今！子どもたちは？◆

- ・一人ひとりの心理面、社会面の発達のばらつきが大きい
- ・社会的スキルが身につけていない子どもがたくさん！

発達援助が必要

学級集団を作るのが難しい・・・？



◆教師に求められる姿勢◆

温かいかわりを続ける中でスキルを教え、子どもにとって価値が感じられる励まし、見守り、承認が必要



スキルを言葉で教えただけでは、身につかない子どもが増えています。

だからこそ、教師が子どもとのかかわりを通して、**基本的なかかわりのソーシャルスキル**を伝えていくことが大切。

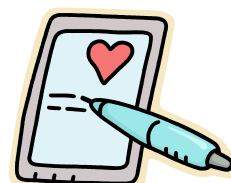
また、子どもたち一人ひとりが育つためには、ルールとリレーションがある学級集団が必要であり、その**集団の状況を理解するための方法としてQ-Uがあります。**



【受講者感想】

「個は、集団の中でしか育たない」を強く再認識しました。

Q-Uは結果の活用が重要



- ★Q-Uの限界を踏まえ、日頃の観察と合わせて児童生徒理解につなげていくことが大切です。
- ★Q-U結果からその子のニーズを読み取れる教師は、日ごろ丁寧に子どもたちにかかわっている教師です。



★Q-Uを実施したら、その結果に一喜一憂する必要はありません。

重要なことは「結果の活用」です。

・Q-U回答一覧を横に見て、子ども一人ひとりの各質問項目の点数を確認してみましょう。

例えば「クラスにいたくないと思うことがある」という質問にだけ「とてもそう思う」と回答している子どもがいたら・・・たぶん全体のプロットだけを見たのでは、SOSに気づかないはずです。

・Q-U回答一覧を縦に見て、質問項目ごとに点数を確認してみましょう。
 ・子どもを知っている担任を中心に、職員集団が対応を考え合う姿勢が、職員の同僚性につながります。

★Q-U結果を資料として、子どもの姿をたくさん集める ⇒ Q-Uはみんなで確認し、考え合うための道具です。



【受講者感想】

トラブルを起こしがちな生徒や、こちらの思いが伝わらないと思う生徒へのかかわり方が少し変えられそう。

忘れるべからず!!

～不登校・暴力・いじめ予防のために～

Q-U終了後、

子どもたちのSOSを捉える質問項目を即確認せよ!